感謝の言葉（7月）

中央病棟7階 整形外科看護師さんへ

たいへん お世話になりました。

私は手術後から3日後までの記憶があやふやですが、近くのベッドの人が手術当日から2～3日、ＮＳによって非常にきめこまやかにケアされているようすを聞いて（カーテンごし）、自分もあのようにされていたのだと思い、感謝しかありません。

初々しい看護師さんたちは、ひめゆり部隊もこうだったのではないかと想像しています。（私は戦争にきているわけではないですが）けなげで一生懸命でした。

感謝の言葉（7月）

中央検査部の方へ

7/4 大腸カメラの時、技師の『〇〇氏』がスムースにカメラが腸内をめぐる様に私のお腹をさすって頂き、とても楽な気持ちになれる様に気配りをして下さって嬉しかったです。

鎮静剤を使わずに検査を受けたので、肉体的につらいかしら・・・？と想っていたのですが、〇〇さんのおかげで不安な気持ちも無く大変助かりました。

ありがとうございました。

感謝の言葉（7月）

外来医事課の方へ

2階、東ブロックの検査受付の『〇〇さん』は、戸惑いながら受付の前に行く私に、わざわざカウンターを離れて来て、私の側に寄り添って受け付けをして下さいました。

とても親切な方で、患者の振る舞いを見て、側に来て下さり『心配りの出来る方だ』と思いました。

お世話になり、ありがとうございました。

ご意見へのお返事（7月）

腹部エコー室に行きました。担当の方の対応が凄く嫌でした。エコーを始めてすぐに「息を吸って止めてください」と言っていたのですが、「息を吸って」しか言わなくなり、止める必要があるのか不明でした。後半、膀胱あたりを見ているとき、エコーの機械を強く当てられ、強い痛みで思わず「止めて」と言いかけてしまいました。担当の方より何の説明もありませんでした。エコー終了後も、紙タオル１枚のみで「ティッシュも使ってください」という配慮がありませんでした。

（R07.6.11日付けご意見）

＜お返事＞

このたびは、当院にてご受診いただいた腹部超音波検査で、痛みを伴うご負担をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

特に下腹部を圧迫する際には、どうしても一定の圧迫が必要となる場合がありますが、今回の検査では、患者さんのご体調やご負担への配慮、またお声がけが十分ではありませんでした。この点を重く受け止め、担当者だけでなく、他のスタッフとも今回の事例を共有いたします。

また、呼吸方法のご案内に関しましても、「分かっておられるだろう」といった思い込みが、結果として説明不足につながり反省しております。今後は、わかりやすく丁寧な呼吸の指示を心がけ、患者さんが安心して検査を受けられるよう努めてまいります。

検査後に使用した超音波ゼリーのふき取りに使用する紙へのご指摘についても、今後は、ふき取り用の紙が不足しないように配慮するとともに、必要に応じてお声がけを行うよう徹底いたします。

今回のご指摘は、私たちにとって非常に貴重な学びの機会となりました。今後も改善に取り組み、よりよい医療サービスを提供できるよう、スタッフ一同努力してまいります。

腹部超音波検査室

ご意見へのお返事（7月）

注射の針を１階で捨てられないのは不便になったと思います。採血がない時も捨てる事はあります。

（R07.6.30日付けご意見）

＜お返事＞

ご意見ありがとうございます。また、ご不便をお掛けしております。

注射針の廃棄につきましては、外来センター１階の北ケア・ルームにてお預かり致しますので、お声掛けいただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

総合外来センター

ご意見へのお返事（7月）

患者がシンクや電子レンジなどを使用している時は、その周辺の掃除は控えて欲しい。
不快に感じました。清掃会社への教育をお願いいたします。

（R07.7.10日付けご意見）

＜お返事＞

この度は、ご不快なお気持ちにさせてしまい誠に申し訳ありませんでした。

今後は、患者さんがご利用中の場合は、清掃箇所を変えて患者さんがご不在になり次第作業を始めるもしくは、患者さんにお声がけをして「清掃しても大丈夫でしょうか」といった確認を取ってから作業を始めるようにいたします。

この度は、ご意見ありがとうございました。

環境課